

とだ 議会だより

No. 217

3 2022年
月定例会

発行：2022年5月1日



議会の新しい体制が決まりました ▶ 02

令和4年度予算決まる ▶ 04

各派代表者が市長に聞く！ 総括質問 ▶ 10

戸田市議会

検索



<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>
撮影：第6回さくらパルまつり(ラジオ工作教室)

3月定例会報告 議会の新しい体制が決まりました

2月2日、3日にかけて役職改選が行われ、新たな正副議長と、各委員会の構成が決まりましたのでお知らせします。

正副議長からごあいさつ



齋藤 直子 議長



石川 清明 副議長

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。今定例会では、議会基本条例を改正し、議会機能の充実・強化を盛り込むなど、議員と議会事務局が「チーム議会」として一体となり取り組むことが大切であるとの思いを新たにいたしました。今後も引き続き、市民の皆様の信託に全力で応えるため、最善の努力を尽くす決意でございますので、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

各委員会の構成が決まりました

総務常任委員会

所管事項 市行財政運営、市有財産管理
消防行政、戸田ポートコース事業



そごう 委員長



野澤 副委員長



むとう 委員



林 委員



石川 委員



細田 委員

文教・建設常任委員会

所管事項 学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業
都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政



浅生 委員長



古屋 副委員長



小金澤 委員



齋藤 委員



花井 委員



三浦 委員



遠藤 委員

健康福祉常任委員会

所管事項 社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政
介護保険事業、子供・青少年の育成



竹内 委員長



熊木 副委員長



みうら 委員



宮内 委員



本田 委員



酒井 委員



山崎 委員

市民生活常任委員会

所管事項 市民生活事業、上下水道・河川管理事業
経済・環境事業



峯岸 委員長



矢澤 副委員長



佐藤 委員



三輪 委員



伊東 委員



渡本 委員

区	分	委員長	副委員長	委 員									
特別委員会	まちづくり・交通対策特別委員会	榎本	三輪	むとう	林	矢澤	酒井	細田	熊木				
	議会改革特別委員会	三浦	山崎	小金澤	竹内	野澤	本田	浅生	遠藤				
	議会広報委員会	伊東	花井	みうら	佐藤	宮内	古屋	峯岸	そごう				
	議会運営委員会	山崎	竹内	むとう	浅生	酒井	三浦	伊東	榎本	熊木			

令和4年戸田市議会年間活動計画

本市議会では、4つの常任委員会における「年間活動テーマ」の取り組みや、議会改革特別委員会での取り組みなどを積極的に進めています。

これらの活動を、本市議会の活動として明確に位置付けること、議会活動の「見える化」を図ることを目的に「令和4年戸田市議会年間活動計画」を作成しました。



区分	委員会名	年間活動テーマ	時 期														
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月			
政策立案・政策提言	総務	公共施設等の現状と今後の対応について															
	文教・建設	自転車によるまちづくりについて															
		小・中学校でのテストの在り方について	テーマ設定	協議	視察・検証		協議			視察・検証	協議			まとめ			
	健康福祉	SDGsの理念を生かした新しい生活について															
市民生活	脱炭素社会の実現に向けて																
議会改革	議会改革特別委員会	議会BCPについて				協議		視察・検証		協議		視察・検証		協議			
		オンライン本会議に係る意見書について	協議	まとめ													
		陳情の取り扱いについて			協議		まとめ										
		執行部出席の在り方について															
		議場及び委員会室等の環境整備について					協議			まとめ							
		服装等に係る申し合わせ事項の見直しについて												協議			
		指定管理者等の報告の在り方について												協議			
議員定数及び議員報酬について												協議					

News topic みうら 伸雄氏が新たに当選

令和3年1月の戸田市議会議員選挙で当選した西本誠（スーパークレイジー君）氏について、選挙区内で3か月以上の居住実態がなかったとして当選無効が確定したことを受け、同氏は令和4年3月4日付で失職となりました。

このため、次点候補者であったみうら伸雄氏が新たな当選人となりましたのでお知らせします。



2
みうら 伸雄
(公明党)
抱負
「価値創造の豊かな街へ」
大字新曾2030-2-307
090-4477-4280
【健康福祉】

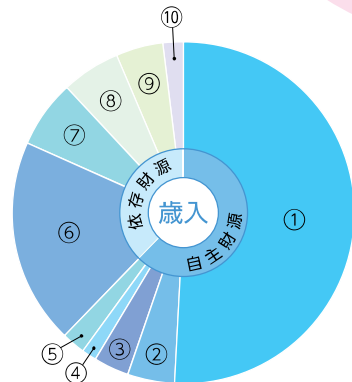
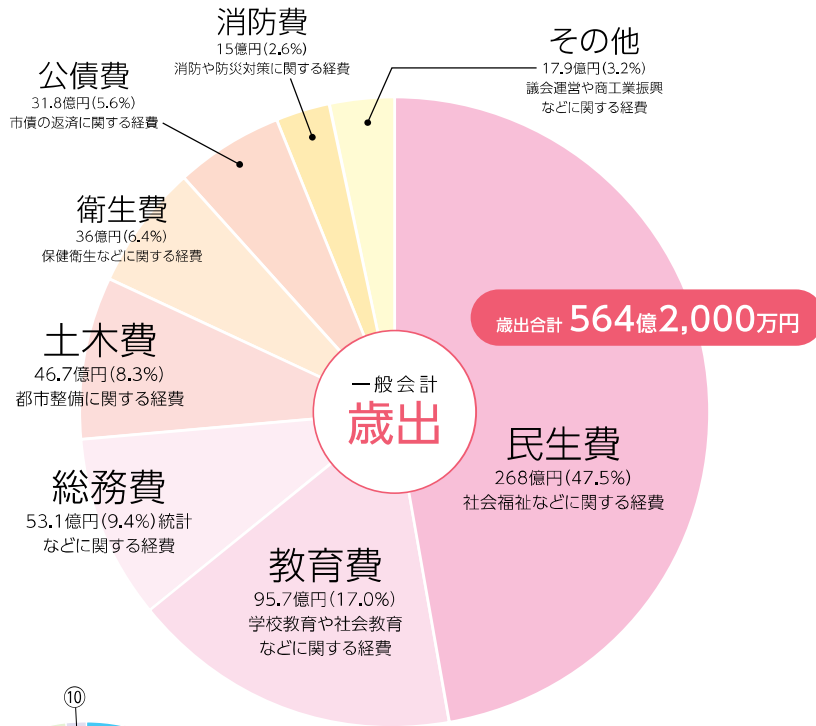
令和4年度予算決まる

2月2日から3月11日にかけて開かれた3月定例会では、2期目を迎える菅原市長の下で執行される令和4年度予算案が示され、慎重審議の結果、賛成多数（賛成 22 人 反対 3 人）で可決されました。

令和4年度予算のあらまし

一般会計	564億2,000万円	3.7%	↑
特別会計・企業会計	313億2,313万円	6.3%	↓
令和4年度予算総額	877億4,313万円	0.1%	↓

前年度比



歳入合計 564億2,000万円

①市	税	286億9,263万円
②繰	入金	24億4,943万円
③諸	収入	19億7,556万円
④繰	越金	7億5,000万円
⑤その他	自主財源	13億2,231万円
⑥国	庫支出金	109億728万円
⑦県	支出金	36億1,066万円
⑧地方	消費税交付金	32億1,500万円
⑨市	債	25億2,880万円
⑩その他	依存財源	9億6,833万円

※千円単位は四捨五入

令和4年度予算は昨年度と比較し、3.7%増の564億2千万円となりました。

戸田第一小学校の改築工事や新曽小学校の増築工事の進捗に伴う教育費の増などが主な要因となっています。

令和4年度 注目事業

※千円単位は四捨五入

公園の包括指定管理

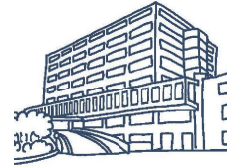
彩湖・道満グリーンパークのほか、市内84の公園を包括指定管理とすることで、賑わいの創出と魅力の向上を図ります。



2億6,895万円

本庁舎のスロープなどをリニューアル

本庁舎のスロープを撤去し、階段を新設するほか、スロープ周辺部を一体的に整理し、イベントにも活用しやすいスペースにリニューアルします。



8,416万円

おくやみコーナーなどを設置

さまざまな手続きが必要な遺族の方を支援するため、主な手続きをワンストップで行える「おくやみコーナー」などを設置します。



2,160万円

戸田型オルタナティブ・プラン

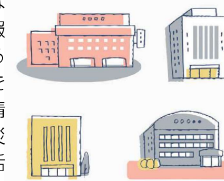
不登校傾向にある児童生徒の早期発見・早期対応に向け、市内に校内サポートルームを設置して、適切な支援を行うとともに、調査・研究を基に、誰一人取り残されない教育を推進します。



901万円

3D都市モデルを構築

建物や地形の高さなど、都市に関わる情報を3次元で表現する「3D都市モデル」を構築し、水害リスク情報と組み合わせることで防災まちづくりの検討に活用します。



499万円

保育所などでの医療的ケア児支援

医療的ケア児の健やかな成長と、家族の離職防止を目的に、市内保育所などで看護師が医療的ケアを行います。



392万円

主な議案と質疑

今定例会では、令和4年度予算も含め、42件の議案が市長から提出されたほか、委員会提出議案が4件提出されました。

ここでは、主な質疑や、討論が行われ賛否が分かれた議案などを中心に紹介します。

基金

議案第2号 戸田市SDGs共創基金条例

SDGs関連の市民活動を支援する基金設立

Q 基金の目的は。

- A** 第5次総合振興計画に掲げられたSDGs(持続可能な開発目標)の理念を市民に広く周知するとともに、SDGsの理念に基づいた市民活動を支援することで、協働によるまちづくりを推進する。



DX

議案第20号 令和4年度一般会計予算

町会会館への無線LAN整備に補助金

Q 事業の概要は。

- A** 市が推進するDX*(デジタルトランスフォーメーション)の一環として、地域の要である町会・自治会のデジタル化を進め、町会・自治会の負担軽減及びポストコロナにおける地域活性化のきっかけづくりを目的としている。内容は、各町会・自治会会館に無線LAN環境を整備する場合に、インターネット回線構築費用、無線LAN機器購入費用及び維持管理費を3年間補助する。



産後ケア

議案第20号 令和4年度一般会計予算

産後のお母さんと赤ちゃんを応援

安心して子育てができる環境の整備を目的に、助産師が利用者宅を訪問し、心理的・身体的ケアや相談を行います。

Q 対象者と時期は。

- A** 対象は、産後において心身の不調や育児不安があり、家族から十分な支援が受けられないなどの理由により支援を必要とする母親と乳児で、対象時期は、出産から1年以内とする。



*DX…ICTを浸透させることで、人々の生活がより良いものへと変革していくという考え方

一般会計

議案第11号 令和3年度戸田市一般会計補正予算(第15号)

令和3年度 一般会計補正予算

法改正に対応するためのシステム改修などに関する補正予算

原案可決(賛成22人 反対3人)

反対

- ①子育て支援の後退は認められない
- ②基金の財政計画の見直しを

むとう 葉子 議員

- ①今回の補正予算には、児童手当の特例給付に所得制限を設け、支給対象を狭める児童手当法と子ども子育て支援法の改正を受けて行うシステム改修費用が含まれており、本市では児童約1,100人分、約4,500万円の減額と試算している。子育て支援の拡充が求められる中、支援の後退・特例給付を受けられなくなることは認められない。
- ②繰越金の総額は37億円を超え、財政調整基金に約28億6千万円を積み立てている。突発的な事態に備える基金への一定の積み立てに反対するものではないが、コロナ禍では思い切った感染対策やくらしへの支援が必要である。大規模な公共施設建て替えなどの事業を総合的に見直し、基金の財政計画を見直すことを求め反対する。

賛成

- ①国の法改正に基づく事業であり妥当
- ②災害発生時の市民サービスの維持などに基金積み立ては必要

野澤 茂雅 議員

- ①本案は国の制度改正に基づくもので、システム改修を実施しなければ、国の制度を適正かつ速やかに運用できなくなることから、システム改修は妥当である。
- ②基金の積み立てを行わない場合、財政調整基金の残高が大幅に減少し、市民サービスの継続や災害復旧などへの財源確保に大きな支障をきたす。さらに、不交付団体である本市は税収の減少が歳入の減少に直結するため、想定以上の減収や災害発生時の財政的影響を可能な限り抑制し、必要な市民サービスの継続を図っていくため、適正な基金残高の維持が不可欠であり、基金の積み立ては必要と考え、賛成する。

特別会計

議案第21号 令和4年度戸田市国民健康保険特別会計予算

令和4年度 国民健康保険特別会計予算

原案可決(賛成22人 反対3人)

反対

- コロナ禍での値上げに対し、市民から疑問の声がある

本田 哲議員

- 昨年12月議会で国民健康保険税の均等割りを値上げする条例改正案が可決され、被保険者約2万5千人の均等割りが5,900円値上げとなった。一般会計からの繰り入れは赤字ではなく、市が保険者として払うべき支出であり、コロナ禍で苦しいときだからこそ、一般会計からの繰り入れを堅持すべきと条例改正に反対した。市民から、コロナ禍で生活が苦しい中での値上げに対し疑問の声が寄せられており、国保税の均等割り値上げによる歳入の増額を見込んだ予算に反対する。

賛成

- 被保険者への一定の配慮もありやむを得ない

宮内 そうご 議員

- 条例改正は、県の運営方針において、国民健康保険を持続可能な制度とすることを目的とした、赤字解消や負担の平等の方針に基づくものであり、激変緩和措置も取られ、被保険者への一定の配慮がなされていることから、やむを得ないものであり、本予算についても賛成する。

人事

◎戸田市監査委員

矢澤 青河氏(新任)

◎戸田市副市長

秋田 大輔氏(新任)

《結果》いずれも同意(全会一致)



決議・意見書

委員会提出議案として決議1件、意見書2件を可決し、意見書は国・政府に提出しました。

- ◇ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵略に断固抗議する決議
- ◇ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵略に対する毅然とした対応と邦人の安全確保と我が国への影響対策を求める意見書
- ◇オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書

委員会の審査から



総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

議案や請願は、各委員会に付託され、慎重に審査されます。その経過と結果について、3月11日の本会議で各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

総務常任委員会

市長公室・危機管理防災課・企画財政部・総務部
会計課・消防・議会事務局・行政委員会事務局

「おくやみコーナー」に導入するシステムの概要は

〈令和4年度予算〉

Q. 新設される「おくやみコーナー」にはどのようなシステムを導入する予定か。

執行部 利用者への聞き取り内容から、必要な手続きを自動的に判断するシステムや、入力した申請内容を印字した各種申請書を作成するシステムを導入し、利用者の利便性向上と職員の負担軽減を図る。

Q. 窓口のキャッシュレス化により使用可能となる決済方法は。

執行部 クレジットカードのほか、QRコード・電子マネーによる決済が可能となる予定。

Q. 市役所における障害者雇用の今後の進め方は。

執行部 集約型オフィスで就業に慣れた職員の各課配置を予定しており、受け入れ側の理解も深めていきたい。

委員 ハード面だけではなく、ソフト面でのバリアフリーを進めてもらいたい。

〈新首第一地区3号調整池污泥処分工事請負契約の一部を変更〉

Q. 今後の流れは。

執行部 8月の污泥処分工事完了時点で実際の処分量が確定するため、来年1月までの変更事務期間中に、最終的な処分費用の確定と、変更契約を締結することになる。



調整池の整備が進められています

文教・建設常任委員会

都市整備部・教育委員会事務局

〈令和4年度予算〉 **第3次都市マスタープランでは計画段階から市民の声を**

Q. 第3次戸田市都市マスタープランの策定に当たって、計画段階から市民の意見を反映させてほしい。

執行部 まず市民アンケートを行い、その後、市民や専門家が参加する会議や地域別懇談会を開催し、できる限り市民の意見を反映していきたいよう進めていきたい。

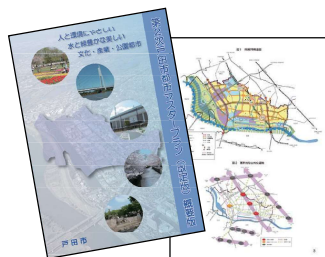
Q. 学校における生活習慣病の健診結果や保健指導の内容は。

執行部 健診結果については、生活指導が必要な児童や要経過観察、要医学的観察となった児童が増加傾向である。また、保健指導については、養護教諭を中心に保健だよりや発育測定などを通じて、望ましい生活習慣や心身の発育・発達などについて啓発している。

Q. 中央図書館が指定管理になって変わった部分は。

執行部 電子図書館を導入し、電子書籍が大幅に増えたことや、託児サービスが開始された。

委員 多くの市民に利用してもらえるよう、市民参加型の催しや市民からのリクエストに重きを置いた図書の収蔵などを要望する。



プランに基づき都市づくりが進められています

健康福祉常任委員会

健康福祉部・こども健やか部・市民医療センター

〈令和4年度予算〉

Q. 民生委員・児童委員の欠員の補充方法は。

執行部 地区の会長を中心に適任者を探しているが、なかなか見つからない状況が続いている。

委員 限られた人だけでなく、さまざまな世代・分野の人がなれる仕組みの研究を。

Q. 子どもの第三の居場所事業の今後の方針は。

執行部 費用対効果や民間で行っているほかの子どもの居場所事業なども考慮しながら、今後について検討していきたい。

委員 大事な事業なので、複数箇所での展開も検討し、継続してもらいたい。

Q. 初乗り運賃の改定に伴い、福祉タクシー利用券の利便性が悪くなってしまった。

子どもの第三の居場所事業の充実を

執行部 令和5年度以降、1回の利用で2枚まで使用できるよう県と調整している。

〈令和4年度戸田市市民医療センター特別会計予算〉

Q. 市民医療センターの医師の不足状況は。

執行部 現在、2人の内科医が不足している。人事課とも連携しながら常勤の医師の確保に努めたい。



子供が安心して過ごせる居場所が求められます

市民生活常任委員会

市民生活部・環境経済部・水安全部

〈令和4年度予算〉

Q. 町会会館等無線LAN環境整備に係るセキュリティ対策は。

執行部 総務省が掲げるセキュリティ対策を提示していく予定であり、研修会などを通して、不正利用されないよう対策を行いたい。

委員 利便性に重点を置いたうえで、セキュリティ対策を行ってほしい。

Q. 公園リニューアル計画の内容は。

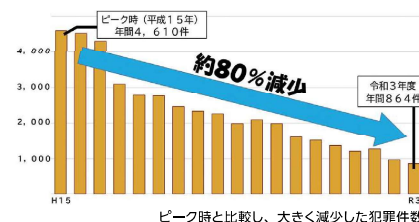
執行部 下戸田地区で公園改修設計を予定している。公園の機能分担という考えから、地域住民とのワークショップを通じ、目的にかなう使い方の検討・設計を行う。公園活用により、にぎわいを持たせていきたい。

Q. 市内における犯罪の発生状況は。

利便性に重点を置いたセキュリティ対策を

執行部 令和3年の犯罪発生状況は864件。令和2年は967件であり、約10%減であった。また、ピーク時の平成15年と比較して約80%減となっている。傾向としては、市内における犯罪のおおむね3分の1が自転車盗であり、268件発生している。

委員 警察官が刃物で切り付けられる事件も発生しており、見守り体制を整えていただきたい。



総括質問

各派代表者が市長に聞く！

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派の代表者による質問のことで。

今定例会では、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の総括質問の録画配信映像をご覧ください。



予算編成の優先順位と財政の見直し

市民の安心安全を最優先

戸田の会
浅生 和英 議員



議員 感染症対策、公共施設整備、浸水対策など財政需要は際限がない中、新たな時代を創造していくポストコロナ予算と突発的な大災害への備えに対する柔軟で弾力的な予算である。財政状況の見直しは。

市長 予算編成は、経費削減をはじめ、将来的な市税収入の減少も踏まえ、適正な財政運営に努めた。コロナ対策は最重要課題と捉え取り組む。また、新たな市民ニーズに対応していくため、国・県補助金や限られた財源を効果的かつ効率的に活用し、弾力的な事業の実施に努める。今後、ポストコロナにおける市民の安心安全、SDGsの推進、市役所のデジタル化など、未来に向けたまちづくりに取り組むことで、市民ニーズの多様化、それに伴い拡大する行政需要への対応を図る。

不登校児童生徒への支援は

議員 「戸田型オルタナティブ・プラン」とは。

市長 小学校3校にサポートルームを設置し、不登校傾向の児童の支援を行う。また、不登校の未然防止や抑止のための調査・研究や、保護者・地域社会への理解促進を目的とした取り組みも進める。

配偶者暴力相談支援センター設置の効果は

議員 配偶者からの暴力は増加・深刻化し、社会的課題で大変憂慮すべき状況。センター設置の効果は。

市長 配偶者からの暴力防止や被害者保護を図る。DV相談窓口の一元化により、潜在需要の把握、関係機関との迅速な連携など、被害者支援の強化にもつながる。

DV相談+

電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00~22:00

電話 0120-279-889

メール 24時間受付

チャット チャットはこちら

戸田市配偶者暴力(DV)相談支援センターのご案内

048-299-5886

月曜～金曜(祝日、年末年始除く)
8:30～17:15 ※相談は無料

※緊急の場合は迷わず110番!!

国や市が設置しているDV相談窓口

コロナ禍における大規模災害対策は

避難所運営や備蓄品の充実を図る

令和会
伊東 秀浩 議員




議員 コロナ禍での大規模災害発生を想定し、感染拡大防止を踏まえた避難所運営体制の見直しと災害用備蓄品の充実をどのように図っていくのか。

市長 避難所の開設・運営に共通する「運営体制」「班編成」「ルール・マナー」などについて、自主防災組織連絡協議会との協議を進めるとともに、災害経験のある被災自治体の対応状況を参考に議論を深め、避難所運営に必要な作業を洗い出し、見直しを進め、さらに災害用備蓄品の充実を図っていく。

児童生徒の不登校対策と中学校卒業後の支援は

議員 コロナ禍において不登校児童生徒の増加が懸念されているが、教育機会の保障、不登校生徒の中学校卒業後の支援継続についての考えは。

市長 本市ではすでに種々の不登校対策を実施しているが、「戸田型オルタナティブ・プラン」を推進し、不登校の未然防止や早期支援に向け、サポートルームの設置などの対策を講じていく。中学校卒業後の支援については、学校以外での相談先や地域の居場所づくりなどが重要と考え、環境整備を図る。

生活困窮者の具体的な支援は

議員 急増する生活困窮者に対する具体的な支援内容は。

市長 さまざまな相談に耳を傾け、相談者の個々の状況に応じ、関係機関と連携を図りながら、引き続き本人に寄り添った支援を行っていく。



感染症にも配慮した訓練が進められています

アフターコロナを見据えた経済雇用対策は

伴走型支援を実施する

みらいの会
熊木 照明 議員




議員 新型コロナを契機に各分野で経営環境やワークスタイルが変化しており、企業は生き残りのため、デジタル化に積極的に取り組んでいく必要がある状況と考える。アフターコロナを見据えた経済雇用対策としてのデジタル化支援など、どのような取り組みを考えているのか伺う。

市長 令和3年度から「コロナ対応デジタル化支援事業」を実施しているが、令和4年度はさらに進め、専門家の協力を得ながら、生産性向上などICTを活用した経営課題解決にDX専門家をマッチングし、伴走型支援を提供する。


自転車を活用したまちづくりを

議員 自転車は移動手段だけではなく交通混雑の緩和や環境への負担軽減、住民の健康増進などさまざまな波及効果があり、観光振興や地域の魅力発信など地域活性化も期待され、本市のまちづくりにもつながるものと考えますが、今年度新設された「都市交通課」を中心とした全庁的な取り組みについて伺う。

市長 本市は土地が平たんであり、自転車利用のポテンシャルが高く、それを最大限生かし、令和4年度から従来の自転車通行空間整備に加え、市内3駅や公共施設にサイクルポートを設置してシェアサイクルに取り組み、さらには庁内関係部局が連携し、ハード対策とサイクルツーリズムを促進するソフト対策の両面からまちづくりを推進する。



市役所内にもサイクルポートが新設されました



鏡画配信
QRコード

おくやみコーナー設置のスケジュールは

12月に常設窓口を設置する

公明党
み かつ
三 浦 芳 一 議員

議員 「おくやみコーナー」の必要性を強く主張してきた。設置に向けてのスケジュールを伺う。

市長 12月に原則予約制の常設窓口を設置する。

議員 「書かない窓口」「キャッシュレス決済」への対応について伺う。

市長 職員が申請書作成を支援し、申請者が署名して手続きが完了する仕組み。キャッシュレス決済はセルフレジや非接触型の小型端末を導入して対応。

戸田市版「ネウボラ」の取り組みを

議員 妊娠・出産から学童期だけでなく、青少年期である18歳までの切れ目のない支援について伺う。

市長 母子保健コーディネーターによる妊婦全員面談や相談体制の充実を図る。

保育士の質・人材の確保を

議員 保育士の質・人材確保、処遇改善について伺う。

市長 保育士確保・定着化補助事業などの成果や必要性について検証し、適切な支援につなげていく。

総合防災訓練の見直しを

議員 ファミリー層や若者の参加を促すなど、どのような見直しを考えているのか伺う。

市長 避難所開設・運営訓練、ブラックアウト対策など、実効性と緊張感を持った新たな訓練に取り組み、参加者増を目指す。

SDGsの理念・啓発を

議員 全国初の基金活用で、先駆的な運動の展開を。

市長 SDGsの理念に基づく、共創によるまちづくりを推進する。



負担軽減が期待されるおくやみコーナー（長浜市ホームページより）



鏡画配信
QRコード

SDGsの理念が予算に反映されているか

SDGsを意識し予算編成した

日本共産党戸田市議団
ほ ん だ
本 田 哲 議員

議員 多様性を認め合う社会の実現を目指す時代において、SDGsの理念を実践するため、本市の豊かな財政を大いに生かして多様なサービスを用意し、市民が自分の生活環境に合ったものを多面的に選ぶ、すべての市民が「戸田市に住んで良かった」と真に思える市政運営が必要である。SDGsの理念が地域の隅々まで行き届く街になることを切望するものであり、SDGsの理念が令和4年度予算編成にどのように反映されているか伺う。

市長 ポストコロナにおける市民の安心安全を守り、SDGsの推進や市役所のデジタル化など、新たな市民ニーズに対応し、未来に向けたまちづくりに資する事業の実施に向けた取り組みを進めるための令和4年度予算編成とした。また、SDGsを意識し、環境に優しい取り組みが実施できる体制を整え、脱炭素社会への貢献をはじめ、環境問題への対応を中心とした事業の推進にも重点的に取り組む。

議員 「SDGsの理念」を実現するためには、現在の財政運営の見直しが必要。各部署が「SDGsの理念」を基に多様な事業が実施できるよう、枠配分予算の見直し。その財源を保障するために、必要以上に基金を増やす積み立ての見直し。「受益者負担」による、各公共施設をはじめとする使用料・利用料の値上げによる市民負担増の見直しを求める。



SDGsの理念を掲げた第5次総合振興計画

一般質問

そこがききたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、15人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。




鏡画配信
QRコード

子ども食堂

つぶやま
コロナ禍の今こそ子ども食堂の拡大を！

たけ うち まさ あり
竹 内 正 明 議員

Q 小学校区に1つ以上の設置を

A 市内12カ所の設置を目指したい

議員 子ども食堂にボランティアとして参加する中で、子供や母親たちが抱える課題を肌で感じ、何としても、小学校区に1つ以上の子ども食堂などの居場所の設置を目指したいと強く訴えてきた。市の認識は。

こども健やか部長 小学生程度の子供が歩いて行ける範囲に、子どもの居場所があることが望ましい。本市でも、小学校区内にひとつを目安に、市内12カ所程度の設置を目指したい。

議員 コロナ禍が続き、家庭や学校以外で大人が子供に関わる子ども食堂などの居場所が重要である。今後のビジョンや次のフェーズを副市長に問う。

副市長 子ども食堂が、地域の包括的な課題解決の場として機能することが将来の理想の姿ではないか。まずは数を増やし、地域のあたりまえのインフラとして根付いていくよう支援していきたい。

Q 障がい者就労支援の好事例を取り入れよ

A 視察を行うなど調査研究を進めていく

議員 障害者就労で要望の多い「就労継続支援B型」で「久遠チョコレート」のように賃金上昇や選択肢を増やす好事例がある。調査研究し本市に取り入れよ。

健康福祉部長 視察を行うなど調査研究を進めていく。



いろいろな場所で開かれている「こども食堂」



生涯学習推進



誰もが学びを検索、
受講しやすい仕組みを

佐藤 太信 議員

Q 第5次生涯学習推進計画の取り組みは

A 改善や実施可能なものについて進める

議員 令和3年度から第5次生涯学習推進計画（5カ年）がスタートした。生きる希望や楽しみが実感できる学び、きっかけづくりが必要と考える①デジタル化に伴い、パソコンが苦手な方に対するサポートは②市民が講座を企画したい場合のサポートは③子育て世帯への支援は④障害者への配慮は⑤市民意識調査での課題を施策に反映する方法は。

教育部長 ①オンライン受講に対するサポートは、生涯学習課で相談に応じている②提案から企画・開催まで市民と共に学ぶ取り組みを進める市民企画講座がある③オンライン・オンデマンド講座の開催や託児サービスを含め、支援の充実策を検討する④オンライン開催により、重度の障害者や人前に出るのが苦手な方などにも自宅で受講できる環境を整えたり、講座の一部に手話通訳、啓発チラシには文字や色のバリアフリー、ルビヤSPコードをつけるなどの工夫を行った⑤改善や実施可能なものについて進めていく。

議員 市ホームページに掲載している講座情報は、他自治体が実施している取り組み例が大変参考になる。講座情報の取得や検索がしやすくなるよう、情報発信の充実に向けた予算化を要望する。

戸田市生涯学習情報誌 令和3年度版
あなたも生涯学習を！

生涯学習って何？

戸田市の生涯学習情報誌に載っています！

令和3年4月～令和3年12月、毎号掲載する。講座・イベントなどの情報を掲載しています。講座・イベントについて詳しくは、生涯学習課までお問い合わせください。

対象店舗

A 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	K 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
B 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	L 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
C 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	M 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
D 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	N 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
E 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	O 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
F 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	P 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
G 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	Q 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
H 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	R 大塚ビル・イオン・イオンスタイル
I 大塚ビル・イオン・イオンスタイル	S 大塚ビル・イオン・イオンスタイル

お問い合わせ先
生涯学習課 生涯学習課
〒332-8501 戸田市大塚ビル303号
TEL: 048-441-2617
FAX: 048-441-2618
E-MAIL: seisaku@city.toda.lg.jp
生涯学習情報誌の発行は、生涯学習課で実施しています。

生涯学習情報誌ではさまざまな講座・教室を紹介しています



経済対策



各種支援の遅れや
届かないなどの改善を

そごう 拓也 議員

Q 事業者への支援、市民への支援は

A 経済対策を必要に応じて実施

議員 感染状況や社会状況を踏まえた事業者への支援、PayPayキャッシュレス決済ポイント還元事業について伺う。

環境経済部長 小規模事業者などに10万円の臨時給付金、デジタル化推進補助など、支援を実施した。PayPayキャンペーンはキャッシュレス決済推進を目的に実施した。1回目は最大20%、2回目は最大30%のポイント還元し、参加店舗数は約1,500店舗、計約9,700万円分のポイント還元が行われ、経済効果は約4億4,400万円だった。PayPay利用者数は前月と比較し、1回目は60%、2回目は84%増加した。キャンペーンの効果として、デジタル化が推進された。

議員 ①地域くらし応援券の概要は②券が届かないとの苦情の有無やその対応は③本事業の効果は。

環境経済部長 ①消費活性化による事業者支援と市民生活の支援を目的に5千円分の応援券を配布した。配送は日本郵便・佐川急便により実施した。令和3年12月20日に配布を開始し、1月15日に完了した②いつ届くのかとの問い合わせを受けた。状況を確認し必要に応じて再交付を行った③大型店舗を中心に多くの店舗で使われ、消費促進を図れた。

第2弾 FOD A 戸田市 × PayPay

PayPay最高のお支払い*
キャッシュレスで戸田を元気に

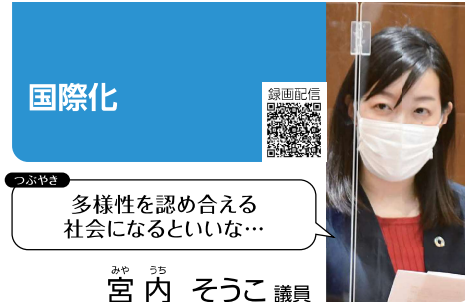
還元率UP!

最大30%戻ってくる
キャンペーン

対象店舗	対象期間	付与上限
戸田市内のPayPay加盟店 一部の店舗を除く	2021/12/1(水)～ 2021/12/31(金)	3,000円相当/回 12,000円相当/期間

キャンペーン主催：戸田市商工会Tel.048-441-2617
(戸田市キャッシュレス決済ポイント還元事業により実施しています)
PayPayカスタマーサポート窓口：0120-990-634 (フリーダイヤル、24時間)

コロナ禍で実施された経済支援策



国際化



多様性を認め合える
社会になるといいな…

宮内 そうこ 議員

Q 日本人と外国人の多文化共生への推進を

A 多文化共生へのまちづくりを進めていく

議員 国際化が進み外国人市民が増える中、地域社会においても日本人市民と外国人市民が共に文化の違いや多様な価値観を認め合い、互いに尊重し合って暮らしていくことがますます重要であるが、本市における多文化共生推進への取り組みは。

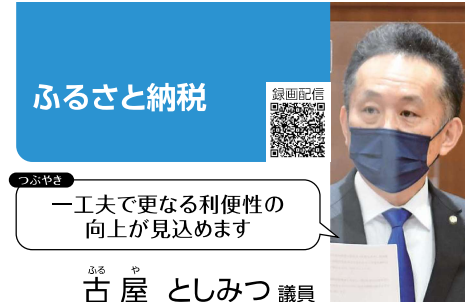
市民生活部長 市と国際交流協会が中心となり、多文化共生に向けた地域づくりを進めている。市民への意識啓発や、国際交流イベントの内容や周知方法を工夫し、外国人市民への支援体制のさらなる充実に努めていく。

議員 グローバル化が急速に進む中、子供たちが義務教育の中で国際性を身に付けていくことはますます重要であると考え。本市の小中学校での英語教育は。

教育部長 小中学校9年間の一貫した英語教育を通して、互いの気持ちや考えを英語で伝えることができるように、豊かな国際性を身に付ける子供の育成を目指している。本市の特徴としては、すべての小中学校にALTを毎日配置している。



子供も大人も国際化



ふるさと納税



一工夫で更なる利便性の
向上が見込めます

古屋 としみつ 議員

Q 本市ならではの特別な体験型返礼品は

A 柔軟な発想で取り組む

議員 ふるさと納税制度により、直近では、概算で約3億9千万円の流出となっている。本市への寄付金額を増やすためにも、本市ならではの他では体験できない特別感のある体験型返礼品の開発が必要では。

環境経済部長 本市ならではの体験と、その魅力発信は大変重要なこと。従来にとられない柔軟な発想で取り組んでいく。

Q 親子ふれあい広場の開室時間の延長は

A 利用時間について慎重に検討する

議員 西部福祉センターのように空き室がある施設から、午後の時間延長を試験的に運用してはどうか。

こども健やか部長 現在のコロナ禍の状況においては、親子の居場所の確保は重要である。午後の開室は、感染収束後の子育て支援施策全体の中で、慎重に検討する。

その他の質問

Q 谷口橋付近の歩道は傾斜と段差で、特に車いすには危険な箇所がある。

A 歩道の切り下げ部の勾配を緩くするなど、車いす利用者に配慮した改良を実施する。



市内には至るところに段差が見られます



スクールゾーン

スクールゾーン内の時間帯
通行規制道路に注意！

野澤 茂雅 議員

Q 時間帯規制道路進入前に看板など標示を

A 状況を確認のうえ啓発看板の設置を検討

議員 スクールゾーンの設定基準は。

都市整備部長 文科省の計画に基づき、小学校や幼稚園などを中心に周囲500メートルの範囲で設定する。

議員 明確な区域を指定するものではないが、約500メートルの範囲を指定することで、運転手の注意喚起や交通安全対策の一助となるためのものと理解する。スクールゾーンの中にも多く設定されている「時間帯通行規制道路」は、設置されている標識だけでは分かりづらい箇所があり、思わず進入してしまう。進入前に看板などで規制を知らせることはできないか。

都市整備部長 警察の規制標識が分かりにくい箇所は、現地の状況を確認し啓発看板の設置を検討する。

議員 時間帯通行規制道路における取り締まりは。

都市整備部長 違反車両が多く見受けられる箇所については、取り締まりの強化を警察に依頼していく。

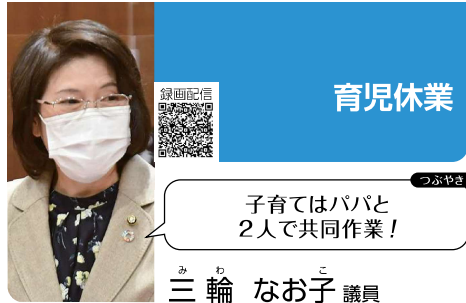
議員 時間帯通行規制道路の路面表記の基準は。

都市整備部長 明確な基準はないが、「時間帯通行止め」を優先的に標示するなど、現地の状況を踏まえて分かりやすいものとする。

議員 子供たちの安全のために、スクールゾーンの正しい理解と分かりやすい案内看板の設置や道路標示を。



路面標示だけでは分かりにくいスクールゾーン



育児休業

子育てはパパと
2人で共同作業！

三輪 なお子 議員

Q 職員の育児休業の取得状況は

A 近年男性職員の取得が増えている

議員 直近3年間の、本市職員の育児休業取得状況は。

総務部長 男性職員の取得率は、平成30年度は31%、令和元年度は36.1%、令和2年度は47.8%、女性職員はいずれの年度も100%となっている。近年では男性職員の育児休業取得が増えている。

議員 法改正への対応と今後の目標について伺う。

総務部長 現時点において、国が定めた目標値は達成している。今後は希望するすべての男性職員が育児休業を取得できるような環境を目指し、男女を問わず仕事と育児が両立できるような職場環境づくりに積極的に取り組む。公的部門として、社会全体に広く男性の育児休業取得や育児参画を促進していく。

Q 家具転倒防止器具設置事業の拡充を

A 拡充を検討する

議員 家具転倒防止器具設置事業の利用状況は。

健康福祉部長 近年は例年5件程度の利用である。

議員 事業の対象者を拡充すべきと考える。

健康福祉部長 地震発生時の減災対策として有効であることから、対象者を65歳以上の高齢者世帯へ拡充することを検討する。



内閣府発行の育児取得促進ハンドブック「イクメンパスポート」



物流施設建設計画

物流施設は、この地域に
なじまないのになあ

むとう 葉子 議員

Q 設計案に対する安全対策は

A 各課協議で確認している

議員 紛争調整後に示された設計案に対し、市民から不満の声が上がっている①出入り口の交通安全対策を②雨水貯留施設の確認は③火災が起きた際の消防活動は④スプリンクラーの設置を。

都市整備部長 ①出口と入り口を仕切り壁で分け、出口にパーゲートを設置し車両の交錯を防止する対策が講じられる他、歩行者を最優先とした車両の誘導が徹底される。これらの対策の確実な実施を指導していく。

水安全部長 ②雨水の流入経路や排水ポンプ、稼働水位、下水道管への経路は各課協議で確認している。

消防長 ③④スプリンクラーは初期消火や火災が起きた場合の消火活動に有効で、設置の指導を行ったが、法的に設置義務がないため、延焼防止に重要な防火区画内での初期消火が有効になるよう定期的に確認する。

議員 朝の交通量調査をした結果、安全ではないことが分かった。改善策を求めろ。

Q 市独自のパートナーシップ制度の実現を

A 今後も導入自治体を調査していく

議員 同性カップルだけでなく、選択的夫婦別姓を望む事実婚を含むパートナーシップ制度の導入を。

市民生活部長 導入自治体の実施状況を調査している。



物流施設の建設が進む川岸地区



官民連携

新しい手法など
積極的な試みを！

矢澤 青河 議員

Q 新たな委託手法を活用しては

A 現状を踏まえ効果的な手法を検討する

議員 官民連携を推進し、自治体と民間でギブ・アンド・テークを成立させるためには、地域の資源や人材の把握とマッチング、新たな手法の導入や効果検証が重要。横瀬町の「よこらぼ」では、遊休資産などを活用して民間主導のプロジェクトを応援している。また、「自治体コネク」という民間の官民連携プラットフォームに登録すれば、全国の民間事業者へ情報発信できる。今後どのように官民連携を推進するのか伺う。

企画財政部長 今後は、官民連携ファームをより活用するため、新たな周知手法や連携手法を検討する。

議員 指定管理などの切り替え時に事業の妥当性や民間への委託など、さらなる効率化を図ることが望ましい。民間に任せられる部分は積極的に民間へ任せ、ノウハウを活用できるような官民連携を進める必要があると考える。ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）*や、成果連動型民間委託契約方式（PFS）など、新たな委託手法を取り入れている自治体も多くあるが、活用しては。

企画財政部長 他自治体の事例や本市の現状を踏まえ、新たな委託手法を含め、効果的な手法を検討する。

議員 官民連携の遅れは前例踏襲型が増加し、積極的な連携は豊富な知見を広げる。今後も官民連携推進を。



*SIBやPFS…PFSは、民間に事業を委託する際に報酬額がその成果に基づき変動する仕組みで、その一つでもあるSIBでは、事業を行うための資金調達を事業者が金融機関等から行う



処遇改善



医療、介護、子育て、
くらしの支援を！

花井 伸子 議員

Q 保育現場での公・民労働者の処遇改善は

A 民は全施設、公は会計年度任用職員のみ

議員 国のケア労働者の処遇改善補正予算は、本市のすべての保育士、学童保育指導員などの賃上げに反映されたか。

子ども健やか部長 保育施設は、公立及び民間の認可保育園、小規模事業所など計58施設、職員約千人。学童保育は、公立・民間施設の計49施設、職員約350人すべてに反映された。公立の保育園及び学童保育施設においては会計年度任用職員のみである。

議員 すべての施設で反映されたとのことだが、国が言う収入の3%程度、月額9千円の引き上げとなっているとは言えない。公務員は会計年度任用職員のみ賃上げで、正規保育士の月額賃金との逆転もある。こうした状況が生じないよう、正規保育士の賃金を見直すことを求める。

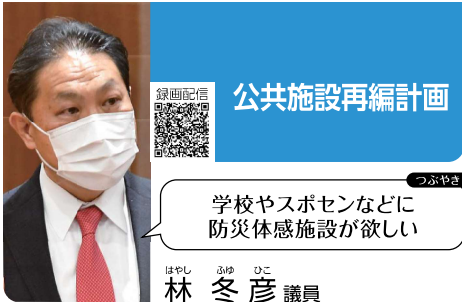
その他の質問

Q 地域くらし応援券は配布や苦情処理に課題があった。事業実績と問題点、今後の委託のあり方など改善策は。

A 3回目までの換金で298店舗、2億7,900万円の実績。券が届かなかったところへは再交付している。意見などは今後の改善につなげていく。



コロナ禍で奮闘する保育現場



公共施設再編計画



学校やスポセンなどに
防災体感施設が欲しい

林 冬彦 議員

Q 計画にない新たな施設建設の可能性は

A 選択肢の一つであり、状況を見極める

議員 「戸田市公共施設等総合管理計画・戸田市公共施設再編プラン」とはどのようなものか
企画財政部長 築30年以上の施設が7割以上ある中、財政負担の軽減・平準化などを図りつつ、施設ごとに「更新・統廃合・長寿命化」に対応を区分けした。計画期間は2017～2045年の29年間で、10年ごとに見直す。

議員 第2期終期（2035年度）までの対象施設は。

企画財政部長 戸田東小学校・中学校、戸田第一小学校、美笹中学校、美谷本小学校などがある。

議員 スポーツセンターの改修は、令和4年度の実施が見送られたと報告を受けたが、その後の対応は。

企画財政部長 市民生活委員会の「建替えを含めた再検討を求める意見書」を重く受けとめ、研究していく。

議員 計画にない、新たな施設建設は可能か。

企画財政部長 選択肢の一つで、状況を見極めていく。

議員 コロナ禍で、地域を支えていた人のつながりが希薄化する中、「コミュニティ力」の復活が安心安全の鍵である。小中学校は「学校（市）・地域・家庭を結ぶコミュニティ・スクール」で、スポーツセンターは「健康増進施設」だが、両施設は「災害対応施設」でもある。特性を生かすつつ時代に合った見直し検討を願う。



コロナ禍前に策定された公共施設に関する計画
(詳細はQRコードから)



マイナポイント



マイナポイント第2弾の
準備をお早めに！

石川 清明 議員

Q 本市のマイナポイント第2弾への対応は

A 必要な準備を進めていく

議員 本市のマイナンバーカードの取得状況は。
市民生活部長 1月末現在で62,976枚。交付率は44.7%で、マイナポイント設定支援窓口の利用者数は、窓口開設から計13,448人。

議員 本市の普及促進の現状と今後の取り組みは。
企画財政部長 「マイナポイント設定支援窓口」を設置し、マイナポイントを契機としたマイナンバーカードの取得促進を図っている。広報戸田市にスマートフォンによる手続きなどの特集を組み、周知に努める。

議員 本市のマイナポイント第2弾への対応は。

企画財政部長 ホームページなどによる普及促進に向けた周知とともに、「マイナポイント設定支援窓口」を引き続き設置し、必要な支援を実施する。また、健康保険証の登録などについては国の動向を注視しながら、必要な準備を進めていく。

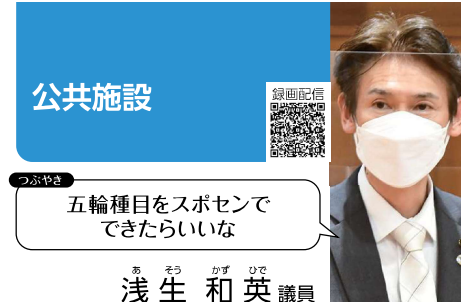
その他の質問

Q 下前公園通りの道路状況の確認と舗装に向けての対応は。

A 約400メートルの区間で舗装の損傷が進んでいるため、令和4年度に舗装補修工事を実施する予定。



市役所に設置されている支援窓口



公共施設



五輪種目をスポセンで
できたらいいな

浅生 和英 議員

Q 市民ニーズを反映した公共施設へ

A 施設がどうあるべきか見極めが重要

議員 税収減・高齢化・人口減など、将来を見据えて市民ニーズを反映した公共施設へ、建て替えを含め見直しが必要である。収益性向上により、今後も市民負担増とならない工夫を。本市の見解は①市の公共施設全体としての考えは②スポーツセンターに対する考えは③球場を含む、北部公園に対する考えは④彩湖・道満グリーンパークに対する考えは。

企画財政部長 ①現状の施設の長寿命化を図ることに重きを置いて取り組んできた。今後は市民ニーズを捉え、公共施設がどうあるべきかの見極めが重要である。

市民生活部長 ②市民のニーズを的確に捉えながら、対応を検討していく。

環境経済部長 ③野球を含むさまざまなスポーツやイベントなどに活用する検討を進め、公園の新たな賑わいや収益性の向上に努めていく④アイデアを生かし、さらなる賑わいの創出と、収益性の向上を図っていく。

その他の質問

Q みどりパル（愛称）のPRとミニ動物園の設置を。

A SNSなどを活用し、愛称を広く周知していく。ミニ動物園は場所の確保ができず、設置は困難。



大規模改修が延期されたスポーツセンター



移動支援サービス

つぶやさ
通年の通学利用を望む声が多い。検討を！

こがねづま ますし
小金澤 優 議員

Q 障害者の通学での利用は可能か

A 「特別な場合」は対象となることもある

議員 障害者が利用できる「移動支援サービス」とは。
健康福祉部長 単独では外出困難な障害者や障害児が、社会生活上必要不可欠な外出や社会参加のための外出をする際、ヘルパーを派遣して必要な移動や介助などを行うサービスである。

議員 障害者の通学での利用は可能か。

健康福祉部長 近隣市の基準などを参考に支給決定基準をガイドラインで定めている。ガイドラインでは「通年かつ長期にわたる通学」は原則としてサービスの対象外にしているが、単独通学を目指す訓練としての利用など、「特別な場合」には対象となることもある。

議員 その他の「特別な場合」にはどのようなものがあるか。

健康福祉部長 家族などの入院により送迎が困難となった場合などで、3カ月を限度に利用を認めている。

その他の質問

Q 町会設置の防犯カメラの台数と維持費は。

A 34町会に98台が設置されており、設置から5年間、月額600円ほどかかる。5年後からの取り扱いは今後検討。



学校教材費

つぶやさ
保護者の生活を豊かに！働きやすく産みやすく！

さいかい いくろう
酒井 郁郎 議員

Q 金銭的な負担の軽減や手間削減を

A 今後の研究課題とする

議員 小中学校における教材費や学用品に、相当な負担軽減の余地がある①算数セットなどの備品化を②水着などを指定店以外でも買いやすく③指定店の拡大を④指定品は汎用品とし、通販やフリーアプリを利用しやすく⑤PTA予算の支出内容の基準化を⑥引き落とし口座にメガバンク・ゆうちょなども利用できるよう。

教育部長 ①～⑤各学校などで取り組んでいる。校長会に情報提供していく⑥今後の研究課題とする。

Q 小中・保育・学童のコロナ対策は改善を

A 国から示された感染予防対策を実施

議員 教育・子育ての現場で多くのコロナ感染者が報告されている①学校内感染が起きているのでは②感染者周囲の座席の子供は本市独自に検査を③感染者、体調不良者が出たクラスでは、保護者に情報提供を。

教育部長 ①感染経路の確認は困難で、学校内で感染したとは限定できない②国から示された基準に基づき調査し、検査を実施している③学校毎に判断し、情報提供している。

議員 東京都、埼玉県の調査では、感染源の最大50%が学校。本市でも非常に多くの子供が感染しており、家庭内感染から社会全体に拡大している。感染を認めない、追加の対策を行わないのは不合理である。



小中学校の教材費・学用品について保護者からは疑問の声が（市ホームページより）

シリーズ特別編「議員のご紹介⑤」

議 ぎかい 会 を 知 っ t o c o

～聞きたい知りたい議会のごこと～



議員をより身近に感じてもらえるようにと連載の始まったこの企画。第5回となる今回は、このたび新たに議会の一員となりましたみうら議員をご紹介します。質問は、広報委員会が複数用意した中から、議員本人が選んだものに答えていきます。



大好きな味噌ラーメンとパシヤリ

議員番号 2 みうら 伸雄 (公明党1期目)

- Q.** 議員になって感じたことは？
- A.** ニュースや新聞など、情報を取り入れる姿勢が変わりました。
- Q.** 自分をひとりで表現すると？
- A.** 素直
- Q.** 初めての議会の感想は？
- A.** とても緊張感があり、背筋が伸びたままでした。
- Q.** 好きな食べ物は？
- A.** ラーメン・鳥の唐揚げ

議会モニター委嘱状交付式

今年度の市議会モニターに応募いただいた4人の方々に対し、議長より委嘱状を交付しました。任期は令和5年2月5日までの1年間で、議会モニターの方々には議会の傍聴などを通してさまざまなご意見をいただき、今後の議会運営に生かしていきます。



左から石川副議長、議会モニターの皆様、斎藤議長

議案等事前説明会にオンラインで参加

本市議会では、令和3年度にオンライン委員会ができるよう条例改正を行ったり、先進自治体へのオンライン視察を行うなど議会のオンライン化を進めています。今定例会では、全議員が携わる議案等事前説明会にオンラインで参加しました。



令和3年 委員会年間活動成果

委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果
総務	デジタル市役所の推進について	要望書を執行部へ提出
	市役所業務におけるICT化に関する提言書の検証について	検証結果報告書を作成
文教・建設	教育環境の現状と今後の課題について	要望書を執行部へ提出
	都市整備の現状と今後の課題について	
健康福祉	ウィズコロナ・ポストコロナ対策について	意見書を執行部へ提出
市民生活	コロナ禍における市民活動の在り方について	
議会改革	戸田市スポーツセンターの在り方について	条例改正を実施
	議会基本条例の見直しについて	当面の間、これまでどおりと決定
	予算決算委員会について	新たな会期日程案を試行
	オンライン会議について	委員会の開催方法の特例として、オンライン委員会を開くことができるよう、委員会条例を改正
	議員駐車場について	庁舎東側の議員駐車場における一部修繕を執行部に依頼

総務委員会 「誰一人取り残さない」人にやさしいデジタル化を

平成31年に提出した「市役所業務におけるICT化に関する提言書」の実現状況について調査し、すべての項目に対して一定の進捗が見られることを確認。一方、市民の中には日々進歩するデジタル機器に対応できない「デジタル弱者」も存在し、それ以外の市民との「デジタルデバインド（格差）」が拡大していくおそれがあることを認識し、市内視察や先進自治体への視察を通じて調査・研究を行った。その成果として、スマホ講座の充実など、デジタルデバインド対策を

求める「誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化の実現に向けた要望書」を執行部へ提出。



1月26日 企画財政部へ要望書を提出

文教・建設委員会 市民が利用しやすい教育・都市環境の整備を

市内視察を行い調査・研究を進め、成果として①中央図書館の託児サービスの日数・時間の増②過去の提言を生かした利用しやすい図書館づくり③パソコンを活用しつつ対面授業との両立を図る④学校・家庭が連携し、児童生徒が情報モラルを身に付け、自ら考え適切に行動できるよう指導に努めることなどを求める「中央図書館・郷土博物館及びICT教育に関する要望書」と、①警察と連携して交通ルールやマナーの啓発②予算や人員を確保し、大幅に遅れている土地区画整理事業の早

期完了を求める「自転車通行空間及び土地区画整理事業に関する要望書」を執行部へ提出。



1月26日 都市整備部・教育委員会へ要望書を提出

各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策立案・政策提言や議会改革を積極的に行っています。
ここでは、令和3年の各委員会の活動成果の概要をお伝えします。



健康福祉委員会 コロナ禍における社会的孤立・分断への対策を

新型コロナの蔓延により加速した、社会的孤立・分断に関する調査のほか、市内各施設との議会懇談会を開催。成果として①感染不安による不登園・不登校を防ぐための対策強化②妊婦へのワクチン接種・PCR検査・治療の優先③地域活動へのきっかけづくり・周知啓発④ひきこもりの実態把握などを求める「ウィズコロナ・ポストコロナ対策についての調査・要望」と、①保育・介護・障害福祉などの人材育成②業務負担の軽減③処遇改善（特に賃金引き上げ）策を講ず

ることなどを求める「コロナ禍における各施設に対する支援を求める要望書」を執行部へ提出。



1月26日 健康福祉部・こども健やか部へ要望書を提出

市民生活委員会 スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を

令和4年度に大規模修繕を予定していたスポーツセンターが、新型コロナの影響により大規模修繕が先送りとなった背景もある中で、本市のスポーツ振興の拠点としてふさわしい施設となるよう機能面やコスト面も含め総括し、成果として①修繕延期中に長寿命化のみならず、建て替え案も十分に検討を②検討に当たり施設のコンセプト（スポーツだけではなく健康づくりなど）、機能面（防災機能、福祉機能）、コスト面、敷地面積との兼ね合いなどにより検討を③駐車場、周辺施設との連携について

も視野に入れた検討を求める「戸田市スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を求める意見書」を執行部へ提出。



1月26日 市民生活部へ意見書を提出

議会改革特別委員会 社会情勢の変化等を踏まえた議会基本条例の改正

平成24年の「議会基本条例」制定から10年が経過し、現状との齟齬が生じていることなどをを受け、条例を1条ずつ評価・検証する「検証シート」を作成し、見直しを実施。主な改正点として、①より一層「政策立案」を積極的に実施していくことを念頭に文言を修正②条例制定後に策定した「災害発生時の対応要領」に基づき、災害時における活動の協力について規定③オンライン会議の開催など、情報通信技術の積極的活用について規定④「チーム議会」の考え方下、

議事事務局が、議会の政策立案及び政策提言についてより充実した支援が行えるよう、議会に対し提案ができる旨を規定。



今後も議会改革を進めてまいります（写真は初のオンライン視察の様子）

3年ぶりに「さくらパルまつり」が開催!



新型コロナウイルスの影響により中止が続いていた「さくらパルまつり」が、3年ぶりに開催されました。今年では3日間にわたって開催され、「サークル発表会」や「ラジオ工作教室」が行われたほか、自動翻訳機が体験できる国際交流協会のブース、射的や輪投げ、メダカすくいなどの昔遊び体験ができるブースが用意され、多くの親子連れで賑わいました。



6月定例会の予定

令和4年6月定例会は、5月30日(月)に開会予定です。

ほっとコーナー

最近、冷凍食品にハマっている。あちこちの冷凍庫に目一杯買い込んでおり、いつでもレンジでチンするだけで結構おいしいだけ。週に1,2回安くおいしい物を求め、スーパーへ買い出しに。同じ物が安く買えたときの爽快感は何とも言えない。冷凍食品のさらなる進化を!! (1)

春は私の大好きな季節です。妻は花粉症なので春は嫌いだと思いますが、皆さんにもきっと好きな季節があるかと思います。人生80年といいますが、私はちょうど折り返しの歳になりました。人生には冬のように厳しい寒さに耐えるような辛いときもあります。「冬は必ず春となる」を信じて、コロナ禍を乗り越えていきましょう。(伸)

題字を書いた人

とだ



起筆を力強く書くことを意識しました。「だ」の一画目を右上がりに、三・四画目をつなげるようにして書くことができました。文字のバランスをとることが難しかったけれど、大きく、はっきりとした字が書けました。

笹目中学校 2年 **野上璃子**さん

前号の訂正

No.216の3ページの人事案件の中で、人権擁護委員の秋元淑子氏の読み方に誤りがありました。正しくは「あきもととしこ氏」でした。訂正し、お詫び申し上げます。

議会だよりをリニューアル!

議会モニターからのご意見などを踏まえ、縦書きから横書きに変更し、余白や行間を工夫するなど、さらに読みやすくなるようリニューアルしました。



議会広報委員会のメンバー

□ シアのウクライナ侵攻は、現地で暮らす人々の平穏を脅かされ大変残念でなりません。戸田市でもウクライナ人道支援募金を5月26日まで実施しております。争いのない平和な世界である事を願うばかりです。(佐)

市議会議員2年目となり、とだ議会だよりの作成に携わるのも2年目となります。今回からレイアウトが大きくリニューアルされましたので、より多くの方々に興味を持って読んでいただけましたら嬉しいです。(宮)

いよいよ6月からマイナポイント第2弾がスタートします。新規取得者に5千円、健康保険証の利用申し込み・公金受取口座の登録でそれぞれ7,500円分のポイントが付与されます。9月末までに申請したマイナンバーカードが参加対象になります。早めに準備してポイントゲット! (石)